

なごやか・かがやき演武会

2017年4月29日(土)

清水南道場所属の竹上智子さんの職場であり、年配の方がたくさんいる総合ケアセンターからの依頼を受け、道場生14名が演武会としてお邪魔しました。

会場に入った途端、「かわいい～」の声が。これは当然私にはではなく、ちびっ子たちに向けられた言葉であり、みなさん目を細め笑顔で迎え入れてくれました。

まずは道場の紹介。杉本先生の巧みな話術でおじいちゃんおばあちゃん達の心をわしづかみ、さらに、なごやかなムードで演武は始まりました。



基本稽古の正拳中段突きをやっただけで「すご～い！」と拍手をいただいた時は私もびっくりしましたが、同時にとても嬉しく新鮮な気持ちになり、この人たちのために一生懸命な空手を見せよう、と思いました。他の道場生も同じ気持ちだったと思います。



帯ごとの型・試し割り・組手と続きましたが何をやっても「おお～！」という歓声と拍手をいただき、私たちは力が入るし、おじいちゃんおばあちゃんの顔や目はかがやきを増すし、とてもいい時間を過ごさせていただきました。今回は初めて演武会に参加した道場生も多かったですので、素晴らしい経験になったと思います。



最後は正拳中段突きで締めくくります。杉本先生の巧みな指導のもと、その気になったおじいちゃんおばあちゃんたちも一緒に、です。



みなさん立ったり、かなり前のめりになって一生懸命に突き、大きな気合を出して下さいました。施設長さんはじめ職員の皆さんも一緒に楽しそうにやって下さいました。

こんなに楽しい正拳中段突きは初めてです。



演武後、施設の方たちのご厚意でケーキやお菓子をいただき、**なごやかな**時間を過ごしました。ケーキをほおぼる顔が今日一番の**かがやき**かな？

施設長さんのお話しでは、施設にいる年配の方々にもちょっとだけ厳しく接することもあるそうです。それはその人を思っていることであり、その人が周りの人に不快な思いをさせないように、その人が周りから嫌われないように、という職員さんの優しさからくるものなのだと思います。相手の事を思って厳しくする、空手の指導と同じです。

施設には毎年来て下さい、また、清水区の介護職員の総会での演武もお願いしたい、というお話しをいただきましたので実現できることを願っています。



総合ケアセンター『なごやかレジデンス』、併設の『かがやきデイサービス』にて

手を握って「絶対また来てね！」と言うおばあちゃんに杉本先生はうるうるしていましたが、また力強い空手を見せられるよう、頑張ります。

おじいちゃんおばあちゃんを大切にしよう、少年部は皆そう思ったことでしょう。押忍